



学校だより

調布市立調和小学校
令和5年5月31日(水)
校長 武田 美穂子

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chowa-sho>

Mail: chowa-sho@chofu-schools.jp

魔法の言葉「あいさつ」

副校長 佐久間 信介

紫陽花が咲き、雨に濡れて一層鮮やかに映る季節となりました。早いもので、一学期の折り返しでもある6月に入ります。私が調和小学校に着任してまず印象的だったことは、「子供たちのあいさつ」です。どの学年の児童もすすんであいさつをする姿を至るところで見ました。登下校時はもちろん、中には授業中にも関わらずあいさつをしてくれる子や、廊下や階段でその場に立ち止まってあいさつをしてくれる子までいました。あいさつは、どの学校でも取り組むことですが、これほど定着している学校はなかなかありませんでした。

そもそも「あいさつ(挨拶)」とは、どのような意味なのでしょう。漢字表記は、書けないけど読めるという方も多いと思います。「挨」には「押し開く」「互いに心を開いて近づく」、「拶」には「迫る」「擦り寄る」といった意味があり、語源をたどると「一挨一拶(いちあいいっさつ)」という言葉で、仏教の禅宗において師匠が弟子の仏法修行の悟りの深さを確かめるために、繰り返し問答をすることを表すそうです。現在の日常的なあいさつの意味合いと比べると、少し仰々しい表現とも思えますが、相手を思い、誠実な気持ちで言葉を発する点では、同じような気もします。



さて、あいさつと聞いて想像するのは、出会いと別れのタイミングではないでしょうか。学校では登下校時、家庭では朝起きたときや出かけるときなど、日本に限らず、世界でもほぼ同じです。ただし、日本人にとってのあいさつは、礼儀やねぎらい・感謝といった側面が比較的強いようです。



例えば、「おはよう」は「お早くから、ご苦労様でございます。」という朝から働く人をねぎらい、「こんにちは」「こんばんは」の後には「ご機嫌いかがですか。」という言葉が略されており、日中や夜に出会った人の体調や心境を気遣う意味が込められています。感謝を表す「ありがと

う」は、漢字で書くと「有難う」、「有るのが難しい」「滅多にあることではない」という意味合いをもち、別れのときの「さようなら」は、「然様(左様)なら」という漢字が当てはまり、「それでは・それなら」を表し、その後「お別れですね」という言葉が略されています。本来であれば、後に続く言葉の方が肝心なはずなのに、省略するところが、同一コミュニティにおける共通認識の上に成り立ち、空気を読む文化が色濃く出ている日本語らしい表現とも思えます。

また、食事での「いただきます」「ごちそうさま」は、日本ならではの言葉です。「いただきます」には、食事した肉、魚、野菜など、命あるものを食すことで私たちは新たな命、エネルギーをいただいたという生のあったものに対する感謝が、「ごちそう(馳走)さま」には、料理を作ってくれた方やその材料を生産して提供してくれた方々への感謝が表されています。海外では、このようなあいさつのない国も多く、日本人の自然や生き物に対する感謝、謙虚な気持ちの表れと捉えることができます。

このように「あいさつ」は、お互いの心を開き、相手へのねぎらいや気遣いを込め、自然や生き物に対する感謝を表し、そして元気を与える言葉です。短い言葉ですが、大きな意味の込められた魔法の言葉が「あいさつ」です。その意味を紐解いて考えてみると、その大切さが分かってきます。

調和小の児童が、これだけあいさつの習慣をきちんと身に付けているのは、受け継がれてきた学校の伝統と思うと同時に、家庭での教育や地域とのつながりがしっかりと行き届いているのだろうなあと感じています。

周りの人とつながりながら、よりよく生きていく魔法の言葉「あいさつ」。今まで刷り込まれてきた「大切」と言われてきたことは、その意味を子供たちが主体的にしっかりと納得して取り組めば、より一層素晴らしい結果が生まれるはずです。

明日から「あいさつ運動週間」が始まります。ご協力・ご支援等をよろしくお願いいたします。



学校からのお願い ～交通事故、不審者などの対応について～

新年度が始まり2か月が経ち、子供たちも新しい学年や生活にだいぶ慣れてきたように見受けられます。日頃から本校の教育活動にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

しかしながら報道やニュース等において小学生の交通事故が報じられることも多く感じる今日この頃ですが、ご家庭でお子様の登下校中の歩行や遊びに行くときなど、下校後に出かける際の歩行や自転車乗車について、どのようなお話をされていますか？

政府広報オンラインでも以下のような記事がみられます。ぜひご家庭での指導の参考にしてください。

小学校1年生が安全に道路を歩けるようになるためには、家庭でも交通安全教育を十分に行うことが重要です。こどもが小学校に入る前から、また、小学校に入ってから、通学路や公園などこどもの行動範囲と一緒に歩きながら、繰り返し交通ルールや自らの身を守るための安全な歩き方を身に付けさせましょう。

● 安全な横断の仕方をしっかり教えましょう

小学校1年生の歩行中の交通事故は「横断中」に多く起こっています。こどもが安全に道路を横断できるようにするために、次のことをしっかりと教えましょう。



- 横断歩道橋、横断歩道や信号機が近くにあるときは、そこまで行って横断すること
- 横断する前に、「必ず立ち止まる」「右左(みぎひだり)をよく見る」「車が止まっているのを確認すること
- 横断歩道では、手をあげる、手を差し出す、運転者に顔を向けるなどして横断する意思を表示すること
- 信号が青のときも、必ず右左を見て、車が止まっていることを確認してから横断すること
- 横断中も、右左を確認しながら歩くこと

● こどもの目線で確認して教えましょう

こどもと大人では目の高さが大きく異なります。大人ならば遠くまで見通せる場所でも、こどもの目の高さからは見通せないことがあります。道路脇に止まった車、塀や生け垣、立て看板などがあればなおのこと。こどもと一緒に通学路などを歩き、こどもの視点から交差点や横断歩道、見通しの悪い場所などの危険箇所を確認して安全な歩き方を教えましょう。

また、「知らない大人から写真を撮られそうになった(撮られた)。」というケースも保護者の方から報告を頂くこともあります。そのような場面に遭遇されたとお子様からお聞きになりましたら、ちゅうちょせず、すぐに110番をして警察へ連絡をお願いいたします。不審な人物はまだ近くにいるのかもしれませんが、警察の方にパトロールしていただくためにも「すぐに110番」をお願いいたします。



学校からのお願い ～各ご家庭での指導をお願いいたします～

お子様の放課後の過ごし方や遊び方、登下校中のマナー…。ご家庭ではお子様とどのような約束をされていますか？「誰と」「どこへ」「何時に帰ってくる」など、ご家庭ごとに約束やルールについてお話しをしてくださっていることと思います。学校では、放課後の過ごし方や遊び方なども交通安全同様に、学年朝会や各学年の発達段階にあわせて指導を計画的、弾力的に指導をしています。

近隣の方から「キックボードに乗っている場所は公道で自動車も出入りする。大変危険な様子が見られる。」「自転車で道路の真ん中を走っている。」など、児童の事故やケガを心配するお声が届いています。

学校でも引き続き生活指導部を中心に指導を重ねてまいります。各ご家庭にてお子様へご指導やアドバイスをいただくと大変助かります。また、登下校中のマナー(白線を意識して歩き、横に広がらない、人の家のものに触らない、必要以上に大きな声を出さないなど)についてもご指導いただくと大変助かります。

結びになりますが、本校の児童の行動によりご迷惑をおかけいたしましたご家庭、ご心配いただきました地域の皆様、この場を借りてお詫び申し上げます。今後とも児童の健全な成長のためにあたたかなご支援、ご理解をいただきますよう、よろしくをお願いいたします。

教育実習生からのあいさつ

この度、教育実習生として調和小学校で勉強させていただくことになりました、川崎良介と申します。調和小学校のみなさんは、とても元気で活発に学校生活を送られていて、毎日元氣をもらっています。精一杯頑張りますので、どうぞよろしく願いたします。



水泳指導についてのお知らせ



6/13(火)から水泳指導が始まります。今年度の水泳指導は、外部のスポーツ団体から専門の指導員を市から派遣していただくことになりました。新しい試みです。担任、指導員で児童の安全第一に指導内容の充実を徹底して行います。



調和小ホームページより～学校生活の様子～

様々な学校行事が行われました。どの行事にも積極的に参加する調和小の子供たちです。子供たちの学校生活の様子を日々調和小ホームページで配信しています。ぜひ、ご覧ください！

【4年生校外学習】



【離任式】



【2年生生活科見学】



【1年生生活科見学】



【3年生校外学習】



【体カテスト】



工事のお知らせ



秋の運動会(スポーツフェスティバル)以降に、校内空調設備の交換工事が始まります。2学期中に終了の予定ですが、それに伴い校庭に重機や資材等を置くため、使用が制限されます。校庭の半分近くを使用する予定です。



変更がありましたので再度掲載させていただきます。

学校関係者評価委員、学校評議員の皆様

○ 学校関係者評価委員

○ 学校評議員